

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために 令和2年度市民による市政評価 ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針を示した「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老 松 博 行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただきます、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5 (4) 3 2 1

(例)

1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
(5) その他(友人の車での送迎)	

《調査票の返送について》

ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度		満足度					重要度										
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない						
		〈記入例〉					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
I 魅力ある産業のまちを創ります！ 産業振興・雇用など	①	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

新規就農者数	H27～H30の累計 91人
農業産出額	H26 183億8千万円 → H30 232億7千万円
製造品出荷額等	H26 6,469千万円 → H30 6,880千万円
新規雇用創出数※1	H27～R1の累計 521人
新規誘致企業数	H27～R1の累計 10社
創業者数	H27～R1の累計 60人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → H30 9億64百万円
観光入込客数	H26 2,631千人 → H30 2,631千人
Aターン就職者数※2	H27～H30の累計 282人

※1 雇用助成金交付人数

※2 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
設問項目												
Ⅱ みんなの 元気を応援 します！ （出会い・結婚・子育て、 健康・福祉など）	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

結婚相談会や出会いイベントの提供数	H27～R1の累計 97件
不妊治療による出産数	H27～R1の累計 80件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R1 89人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R1 31箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → H30 39.5%
介護予防いきいき隊要請者累計数	H27 106人 → R1 195人
物忘れ相談プログラム体験者数	H27 340人 → R1 487人
全国500歳野球大会参加チーム数	R1 32チーム
スポーツ合宿実施数	H27 15団体 → R1 26団体

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない					
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心 都市整備など	①	【自然・環境衛生】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧	【上・下水道】 浄水場・水道施設や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

自主防災組織の組織率	H26 67.5% → R1 91.5%
地域公共交通利用状況	地域の実情に合わせて6システム 50路線を運行 R1実績 循環バス 13,552人 コミュニティバス 42,429人 乗合タクシー 14,205人
市ホームページ閲覧数	H26 64万9千人 → R1 157万人
都市計画道路整備率	H26 59.8% → R1 62.0%
住宅リフォーム支援制度利用件数	H28～R1の累計 1,692件

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない					
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育・生涯学習 芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R1 61人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R1 10人
学校のトイレ洋式化改修率	H27 73.0% → R1 86.4%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R1 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数	H27 116,772人 → R1 118,618人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R1 228団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R1 10回
自治体間による交流団体数	R1現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校種による連携。

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない					
V 時代に合った地域を創ります！ 地域社会の維持・活性化、 市民との協働、行財政運営など	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → R1 114件
地域おこし協力隊員数	H27 1人 → R1 3人
本市への移住者数	H27 5世帯 8人 → R1 37世帯 66人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R1 129件
市職員数	H27 992人 → R1 846人
ふるさと納税寄付額	H27 9,013千円 → R1 160,032千円
財政力指数※1	H27 0.342 → R1 0.343
将来負担比率※2	H27 136.9% → H30 128.1%
全会計市債現在高	H27 99,175百万円 → H30 92,087百万円

※1 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。財政力指数が高いほど財政力が強いことを示す。

※2 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

問1 あなたが「**産業分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業への支援 |
| 9. 若者の起業支援 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用・就労への支援 | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他() | |

問2 あなたが「**出会い・結婚・子育て分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催 |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実 |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 | 6. 子育て支援サービスの充実 |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施 | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 13. その他() | |

問3 あなたが「**健康福祉・スポーツ分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進 | 2. こころの健康づくりの推進 |
| 3. 地域医療体制の整備 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの推進 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の整備 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な実施 |
| 13. スポーツ活動への支援 | 14. スポーツ環境の整備 |
| 15. その他() | |

問4 あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 新エネルギー導入の推進 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策の推進 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保 |
| 7. 地域の防災体制の整備 | 8. 水害対策設備の整備 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪施設の整備 |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他() | |

問5 あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 住宅環境の整備 | 8. 住宅耐震化率向上の推進 |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備 | 10. 地域情報化の推進 |
| 11. 安全で安定した水道水の供給 | 12. 下水道施設の整備 |
| 13. 下水道未普及地区の解消 | 14. 水道事業の適正な実施 |
| 15. その他() | |

問6 あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 家庭教育の推進 | 4. 学校施設の整備 |
| 5. ふるさと教育の推進 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. 生涯学習支援体制の充実 | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信 | 10. 芸術、文化活動の振興 |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発 |
| 13. 他自治体との連携・交流 | 14. 国際交流の促進 |
| 15. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
る取り組みはどれですか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住への支援 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の推進 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開 | 12. 効果的・効率的な行政運営 |
| 13. 公共施設の見直し | 14. 公文書館の利用促進 |
| 15. その他() | |

3 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと住んでいる |
| 2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た |
| 3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た |

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

問4

あなたは、ここ1年間で仕事以外で社会活動や地域活動(自治体活動、PTAでの活動、花植え、草刈り、ゴミ拾いなどの環境保全活動、見守り活動など)に参加しましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 参加した
活動の内容()

2. 参加していない
)

問5

10年後、あなたが大仙市を市外の知人に紹介する場合、どのようなまちとして紹介したいですか。

「**1つだけ選ぶとしたら**」と考えたとき、あなたの考えに最も近い番号**1つ**に○をつけてください。

1. 四季折々の豊かな自然があるまち
3. 花火のまち
5. 文化や歴史の豊かなまち
7. 高齢者が健康で楽しく暮らせるまち
9. 犯罪や自然災害の少ない安全なまち
11. みんなが地域のために活動しているまち
13. その他()

2. 美味しいお酒や食べ物があるまち
4. 面白いお祭りやイベントがあるまち
6. 教育が充実し学力水準が高いまち
8. 子どもが楽しく安全に暮らしているまち
10. 地域の人々の絆があるまち
12. 観光客や移住者を快く受け入れるまち

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますようご協力をお願いいたします。

テーマ1 成人式について

市では、成人を迎える市内中学校卒業生及び市内在住者を対象に、「成人」という人生の節目をお祝いするとともに、成人者自身が社会的責任を自覚し、家族や地域への感謝と誇りを再認識する機会を提供するため、成人式を開催しています。

成人式は、各地方自治体の判断で実施されていますが、民法の一部改正により、令和4年（2022年）4月1日から成人の対象年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、成人式の対象年齢や開催時期などについて改めて検討が必要となっています。

この調査では、広く市民の皆さまから成人式に対するご意見を伺い、令和4年度以降の成人式に向けての参考とさせていただきます。

※この調査とは別に、市内高校生を対象とした調査も予定しています。

【現行の成人式】

対象者	年度内に満21歳に達する市内中学校卒業生及び市内在住者
開催日/会場	8月15日 / 大仙市大曲市民会館
主催	大仙市、大仙市教育委員会、成人式実行委員会（各地域の成人者で構成）

問1

令和4年度以降、成人式を行う対象年齢としてどの年代が望ましいと思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※現在、市では対象者が全員飲酒・喫煙が可能となる「1.年度内に21歳に達する人（20～21歳）」を対象としています。

1. 年度内に21歳に達する人（20～21歳）
2. 年度内に20歳に達する人（19～20歳）
3. 年度内に19歳に達する人（18～19歳）
4. 年度内に18歳に達する人（17～18歳）

（参考）

年齢	飲酒・喫煙	選挙権
20歳	可	有
19歳	不可	
18歳		無
17歳		

問2

成人式の開催時期はいつが望ましいと思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※現在、市では冬期間の交通の乱れ等を考慮し、夏の帰省しやすい時期に合わせ、毎年8月15日（お盆）に実施しています。

1. お盆期間（8月）
2. 成人の日を含む3連休（1月）
3. 年末年始（12月～翌1月）
4. 春休み期間（3月）
5. ゴールデンウィーク期間（4月～5月）
6. その他（ ）

問3

今後、成人式の内容として重視すべきものは何だと思いますか。

あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 社会人としての意識を自覚させるような内容
2. 家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容
3. ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容
4. 成人を祝福するような内容
5. より多くの参加者が集まるようなイベント的な内容
6. 友人と集う同窓会的な内容
7. わからない
8. その他（ ）

テーマ2 自殺対策啓発事業について

市では、これまで実施してきた自殺対策の取り組みをさらに強化していくため、平成31年3月に「大仙市いのち支える自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない大仙市の実現」を目指して、自殺予防の普及啓発や自殺対策に携わる人材の育成など、自殺対策を総合的に推進しています。

自殺対策の啓発事業については、悩みを抱えた市民が早期に専門機関につながることでできる体制を整え、自殺や精神疾患に対する正しい知識を広げていくため、広報やFMはなび等により、市民に広く情報発信を行っています。

この調査では、市民の皆さまから市の自殺対策やこころの健康に関する取り組みについてご意見を伺い、今後、効果的に自殺対策啓発事業を展開していくための参考とさせていただきます。

問1 あなたは、こころの健康に関心がありますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. ある | 2. ややある |
| 3. あまりない | 4. ない |

【「3.あまりない」、「4.ない」の場合、その理由】

問2 市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みを知っていますか。あてはまる記号に○をつけてください。

自殺対策に関する事業	内 容	知っていますか
1) メンタルヘルスサポーター養成講座	こころの健康づくりや自殺予防活動に関する人材の育成	a) はい b) いいえ
2) 自殺予防街頭キャンペーン	自殺予防週間と自殺予防デーのある9月に、市内商業施設での自殺予防に関する啓発活動	a) はい b) いいえ
3) こころの体温計	市ホームページでのこころの健康状態チェック	a) はい b) いいえ
4) ほっとスペース	市の臨床心理士によるカウンセリング	a) はい b) いいえ
5) こころほっとセミナー	市民を対象としたこころの健康公開講座	a) はい b) いいえ
6) こころの健康講演会出前講座	小学生を対象としたこころの健康に関する講演会(生命誕生の神秘や命の尊さなどについて)	a) はい b) いいえ
7) 思春期こころの健康講演会	中学生を対象としたこころの健康に関する講演会(思春期に変化するこころと体や困ったときのSOSの出し方などについて)	a) はい b) いいえ
8) いのちの総合相談会	専門の相談員による相談会	a) はい b) いいえ
9) 保健師による健康相談	市の保健師による健康相談	a) はい b) いいえ
10) FMはなびによる放送	こころの健康に関する内容のラジオ放送	a) はい b) いいえ
11) 広報による自殺予防特集	年1回広報への掲載による自殺予防の啓発	a) はい b) いいえ

問3

問2で1つでも「a) はい」と答えた方にお聞きします。

市の自殺対策やこころの健康に関する情報をどこで見たり、聞いたりしましたか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 広報 | 2. ホームページ |
| 3. FMはなび | 4. 市役所(本庁または各支所) |
| 5. 健康増進センター | 6. 家族や知人 |
| 7. その他() | 8. 見たこと、聞いたことがない |

問4

あなたは、悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談しますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 家族や親族 | 2. 友人 |
| 3. 恋人 | 4. 近所の知り合い |
| 5. 学校の先生や同級生・先輩・後輩 | 6. 職場の同僚や上司・部下 |
| 7. メンタルヘルスサポーター | 8. 市の臨床心理士 |
| 9. 市の保健師 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. その他() | |
| 12. 誰にも相談しない → その理由() | |
| 13. 誰にも相談できない → その理由() | |

問5

市の自殺対策やこころの健康に関する啓発活動としてどのような取り組みをさらに進めていくべきだと思いますか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 学校での啓発活動(子どもの自殺予防 等)
2. 職場での啓発活動(職場でのメンタルヘルス対策の推進 等)
3. 地域や自治会、サークル等での啓発活動(地域やコミュニティを通じた見守りや支え合い 等)
4. 市ホームページの内容充実
5. 街頭でのキャンペーン活動
6. 市民を対象とした講演会
7. 広報による啓発活動
8. FMはなびによる啓発活動
9. SNS等による啓発活動(Twitter、Facebook、instagram、YouTube等)
10. その他()

テーマ3 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について

花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」は、大仙市花火産業構想第Ⅰ期に掲げる取り組みにおいて、花火の文化的価値の向上と花火の伝統文化を将来にわたる地域資源として継承・発信していく拠点として整備し、平成30年8月に開館しました。

この調査では、市民の皆さまから「はなび・アム」の利用状況やご意見を伺い、今後の施設運営の参考とさせていただきます。

【花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」】

1・2階	研修室などを備えた「生涯学習エリア」
3・4階	花火資料の展示や花火シアターなどのある「花火資料館エリア」

問1 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 知っていた → 問2へ 2. 知らなかった → 問4へ

問2 問1で「1.知っていた」と答えた方にお聞きします。
3・4階の「花火資料館エリア」をご覧になるために「はなび・アム」を訪れたことはありますか。
また、訪れたことがある場合は、何回来館されましたか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

1. 1回行ったことがある
2. 2～4回行ったことがある
3. 5回以上行ったことがある
4. 行ったことがない → 問4へ
- } → 問3へ

問3 問2で「1.1回行ったことがある」、「2.2～4回行ったことがある」、「3.5回以上行ったことがある」と答えた方にお聞きします。
来館された際に、印象に残ったところはどこですか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1～3つ)

1. 3階「花火資料室」 2. 影絵「大曲の花火」レプリカ
3. 4階「展望展示ホール」 4. はなびシアター
5. はなび創作工房 6. その他()

問4

「はなび・アム」のホームページやSNS (facebook・twitter) では、来館案内の他に、花火や展示に関するお知らせ、周辺店舗の紹介などをしていますが、内容は充実していると思いますか。

あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う |
| 3. どちらとも言えない | 4. あまりそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. ホームページやSNSを見たことがない |

問5

「はなび・アム」のホームページやSNS上で他にお知らせしてほしい情報などはありますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 大仙市以外の花火イベントの紹介 |
| 2. 大仙市内の花火イベント以外のイベント情報 |
| 3. 花火資料の収集状況 |
| 4. その他() |

問6

どのような展示や催し物などがあれば「はなび・アム」に行ってみたいと思いますか。

あてはまる番号**すべて**に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------|
| 1. 大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示 |
| 2. 大仙市以外の花火大会の資料や情報の展示 |
| 3. 花火に関連する古い資料の展示 |
| 4. 花火に関連するグッズや絵画の展示 |
| 5. 花火の写真や映像の展示 |
| 6. 市のマスコットキャラクターが登場するイベント |
| 7. 風船プレゼントなど子どもが喜ぶ無料プレゼント |
| 8. 展示を見て学び、花火クイズに答えるイベント |
| 9. 花火師と花火について語れるイベント |
| 10. 花火玉模型などをつくるワークショップ |
| 11. 資料館のガイドツアー |
| 12. はなびシアターの新作映像 |
| 13. 花火関連グッズ等の販売ブース |
| 14. 軽食・喫茶コーナー |
| 15. その他() |

テーマ4 なかせん千本桜プロジェクトについて

中仙地域では、市を代表する桜の観光地の確立と地域の活性化を図るため、「なかせん千本桜プロジェクト」を計画し、桜の植樹などによる桜の再生や八乙女山、県道、斉内川堤、道の駅からなる「なかせん千本桜エリア」を拠点とした観光の振興に取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さまからこのプロジェクトの認知度や地域の桜や桜まつりに関するご意見を伺い、今後、効果的に観光PR事業を展開していくための参考とさせていただきます。

【なかせん千本桜プロジェクト】

計画期間：平成30年度～令和9年度（10年間）

第Ⅰ期 (平成30～令和4年度)	八乙女山の再生植樹事業と主に市内向けのPRを行い、市民の皆さまの桜に対する関心を高め、更に桜が魅力的な資源として再認識されることを目指します。
第Ⅱ期 (令和5～9年度)	八乙女山の桜の再生状況に合わせ、市外、県外にも対象を拡大したPR活動を展開し、近隣の観桜名所や春季イベントと連携するなど、市を代表する桜の観光地の確立を目指します。

問1 市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべますか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 余目公園(大曲) | 2. 中川原コミュニティ公園(神岡) |
| 3. 大佐沢公園(西仙北) | 4. 八乙女公園(中仙) |
| 5. 米ヶ森公園(協和) | 6. いこいの森南外さくら公園(南外) |
| 7. 真山公園(仙北) | 8. 大台スキー場(太田) |
| 9. その他() | |

問2 桜を見に行くとき、何から情報を得て行きますか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. チラシ | 2. ポスター |
| 3. 雑誌 | 4. 新聞 |
| 5. テレビ | 6. ラジオ |
| 7. インターネット | 8. 広報 |
| 9. SNS | 10. 友人・知人から |
| 11. その他() | |

問3 桜まつりにより多くの方から訪れていただくためには、どのようなイベントなどが必要だと思いますか。あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 屋台が並ぶ飲食コーナー
2. 歌や踊りを披露する舞台
3. 子ども向けの無料イベント
4. マスコットキャラ着ぐるみの登場
5. 特産品やお土産の販売
6. 桜野球大会やマラソン大会など関連した事業
7. 桜の植樹イベント
8. 桜を守る活動への参加
9. 日没後の桜のライトアップ
10. 花火ショー
11. 他市、他県の桜の名所の関係者が集う集会
12. その他()

問4 花見を目的に「八乙女公園」を訪れたことはありますか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. ある
2. ない

問5 「なかせん千本桜プロジェクト」を知っていましたか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 知っていた
2. 聞いたことはある
3. 知らなかった

問6 地域の桜や桜まつりについて、ご自由にご意見をお書きください。

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....
--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
令和2年度市民による個別事業評価
「地域子育て支援拠点事業」に関するアンケート
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業等評価」を毎年実施しています。

この「個別事業等評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、令和2年度において、小学校3年生までのお子さんの中から無作為に300人を抽出させていただきます、その保護者の方にお送りしています。
- ◆ このアンケートは、無記名形式で行い、回答については、保護者の方どなたがご回答いただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

《調査票の返送について》

- ◆ ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■ 属性について

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 |
| 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 |
| 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問2 この調査にご回答いただく方はどなたですか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. その他() | |

問3 お子さん以外で同居している家族はいますか。
あなたとの続柄で、あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 父母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. おじ・おば | 6. 甥、姪 |
| 7. その他() | |

問4 小学校3年生以下(小学校3年生も含む)のお子さんは何人いらっしゃいますか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問5 問4でお答えいただいたお子さんは、普段日中どこで過ごしていますか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 小学校 | 2. 認定こども園 |
| 3. 保育所 | 4. 自宅 |
| 5. その他() | |

「地域子育て支援拠点事業」について

市では、子育て家族を地域で支える取り組みとして、子育て中の親子の交流や育児相談、子育てに関する講習等を実施する「子育て支援拠点施設」を開設しています。

この調査では、子育て世代の方に、子育て支援拠点施設の利用状況や子育てに関するご意見を伺い、今後の施設運営や子育て支援事業を推進していくための参考とさせていただきます。

【子育て支援拠点施設】

対象者：0歳から小学校3年生までの子ども及びその保護者

施設名	まるこのひろば	うさちゃんひろば	つなっこひろば
開設年度	平成21年8月	平成24年6月	平成25年6月
場所	大花都市再生住宅（大曲）	中仙市民会館「ドンパル」（中仙）	旧土川保育園（西仙北）※1
利用時間	9時～16時	10時～16時	10時～16時
利用日※2	水曜日以外	水・木・金・土曜日	水・木・金・土曜日

※1 令和2年10月から大綱交流館へ移転予定

※2 お盆、年末年始は休館

問1 市の「子育て支援拠点施設」を知っていましたか。

あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 知っていた(利用したことがある) | → 問2-1 ~ 2-3へ |
| 2. 知っていた(利用したことがない) | } → 問3へ |
| 3. 知らなかった | |

問2-1 問1で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。

どの施設を利用しましたか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. まるこのひろば | 2. うさちゃんひろば |
| 3. つなっこひろば | |

問2-2 問1で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。

どのようなサービスを利用しましたか。

あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 親子遊び広場を利用 | 2. 子育てに関する相談 |
| 3. イベントの参加 | 4. 子育て関連情報の提供 |
| 5. その他() | |

問2-3 問1で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。
また利用したいと思いませんか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

→ 問4へ

問3 問1で「2.知っていた(利用したことがない)」、「3.知らなかった」と答えた方にお聞きします。
今後、利用したいと思いませんか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

問4 現在、子育て支援拠点施設は市内3か所で開所していますが、施設の数や地域についてどのように思われますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 3か所で十分	2. 減らしても問題ない
3. 他の地域にも必要	4. 同じ地域へさらに増やしてほしい
5. その他()	

問5 子育て支援拠点施設などで、どのような子育てに関する情報がほしいですか。
あてはまる番号**すべてに**○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 市内外の子育てイベント情報	2. こども園や児童クラブなどの子育て施設の情報
3. こども園や児童クラブの空き情報	4. 子連れで利用できるお店などの情報
5. 市内外の子育てサークルに関する情報	6. 子どもの健康に関する情報
7. 子育て相談の利用方法に関する情報	8. おむつ交換や授乳スペースに関する情報
9. その他()	

問6 子育て中の親子に対して、遊び場を提供する園開放や子育て相談の機能をもつ「子育て支援センター」が各地域の認定こども園等にあることを知っていましたか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 知っていた(利用したことがある)	→ 問7へ
2. 知っていた(利用したことがない)	} → 問8へ
3. 知らなかった	

問7 問6で「1.知っていた(利用したことがある)」と答えた方にお聞きします。
また利用したいと思いますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

→ 問9へ

問8 問6で「2.知っていた(利用したことがない)」、「3.知らなかった」と答えた方にお聞きします。
今後、利用したいと思いますか。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 利用したいと思う	その理由 →	【利用したいと思わない理由】 □
2. 利用したいと思わない		

問9 同じ年頃の子どもをもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っていますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

1. 子育て支援拠点施設	2. 子育て支援センター
3. こども園や小学校等の行事や送迎時	4. 児童館、児童センター
5. 市内のイベント	6. 市外のイベント
7. 子育てサークル	8. SNS
9. その他()	

問10 子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

1. 親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供
3. 冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供
4. 子育てに困った時に相談や情報を得ることができる場所の提供や仕組みづくり
5. 多様な保育ニーズ(延長保育、一時保育など)に対応できる施設の提供
6. 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる保育サービス
7. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
8. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ
9. 子育てについて学べる機会の提供
10. 特にない
11. その他()

○福祉医療費助成事業(マル福)について

市では、子育て世代への経済的支援として、福祉医療費助成事業(マル福)を行っています。市が行っている福祉医療費助成事業(マル福)では、秋田県の基準を拡大し、これまで中学校修了までの子ども(親の所得制限あり)の医療費自己負担分を全額助成してきましたが、令和2年8月診療分からは、対象年齢を18歳年度末までに拡充するとともに所得制限を撤廃して実施することとしています。

18歳年度末までのすべての子どもの医療費の自己負担分を全額助成することにより、子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりをさらに推進していきます。

問11 あなたは、福祉医療費助成事業(マル福)に満足していますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

問12 市が行っている子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために
令和2年度市民による個別事業等評価
「結婚・出産・子育て」に関するアンケート
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、市政運営の基礎資料とさせていただくための「市政評価」に加え、個別の事業や施策を対象とする「個別事業等評価」を毎年実施しています。

この「個別事業等評価」は、市が実施している個別の事業等に対して、市民の皆さまから評価やご意見をお伺いするもので、皆さまからいただいたご回答は、事業等の推進や見直し、新たな施策の立案に向けた大切な基礎資料とさせていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願いいたします。

令和2年 4月
大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上49歳以下(令和2年4月1日現在)の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に300人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、18歳以上の方)がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。また、「その他()」や記述形式の場合は、記述欄に具体的な内容をご記入ください。

(例)

- | | |
|------------------|-------|
| 1. 電車 | 2. バス |
| 3. 自家用車 | 4. 徒歩 |
| ⑤. その他(友人の車での送迎) | |

《調査票の返送について》

- ◆ ご記入いただいたこの調査票は、**5月13日(水)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119
メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■ 属性について

問1 あなたの性別について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢(令和2年4月1日現在)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 | 4. 30～34歳 |
| 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 | 7. 45～49歳 | 8. 50歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地域について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

問4 あなたの同居の家族構成について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|---------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦世帯 | 3. 二世帯世帯(親・子) |
| 4. 三世帯世帯(親・子・孫) | 5. その他() | |

問5 あなたの職業について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣・契約社員 | 4. 自営業主・家族従業者(農林業含む) |
| 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職(退職者含む) | 8. その他() |

問6 あなたは、現在結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 結婚している(事実婚含む) | → 2ページへ |
| 2. 独身(離別・死別含む) | → 3ページへ |

問6で「1.結婚している（事実婚含む）」と回答した方のみお答えください。

問7 結婚相手の方との出会いのきっかけは何でしたか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 職場や仕事
2. 学校
3. 幼なじみ・隣人(住む地域が近かった)
4. 学校以外のクラブ、サークル、ボランティア活動
5. 合コン、婚活パーティ
6. 結婚相談所などの結婚支援サービス
7. 友人・知人等の紹介
8. お見合い
9. 旅先や街なか
10. インターネット、SNS (facebook 等)
11. その他()

問8 夫婦の就業状況についてお聞きします。あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

1. 夫婦共働き(夫婦とも正規社員・職員、派遣・契約社員、自営業主・家族従事者)
2. 夫婦共働き(夫婦とも、または一方がパート・アルバイト)
3. 夫または妻のどちらか一人のみが働いている
4. 夫婦とも働いていない(退職を含む)

→ 5ページへ

問6で「2.独身（離別・死別含む）」と回答した方のみお答えください。

問9 あなたが、結婚することを考えたとき、どのようなことが気になりますか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。（○は1～3つ）

1. 経済的にやっていけるか
2. お金を自由に使えるか
3. 職業を自由に選べるか
4. 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか
5. 余暇や遊びの時間を自由に取れるか
6. 住む場所が制約されないか
7. 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
8. ファッションや食物などの好み が制約されないか
9. 自由な人生設計ができるか
10. 結婚相手の家族と仲良くできるか
11. その他()

問10 結婚に関するあなたの考えに近いものはどれですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---|--------------|
| 1. 早めに結婚したい | } | → 問11へ |
| 2. いずれ結婚したい | | |
| 3. 結婚したいができそうにない | } | → 問12(4ページ)へ |
| 4. 結婚するつもりはない | | |

問11 問10で「1.早めに結婚したい」、「2.いずれ結婚したい」と答えた方にお聞きます。
あなたが結婚したいと考える年齢は何歳くらいですか。
あてはまる番号**1つに**○をつけてください。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 20代前半 | 2. 20代後半 | 3. 30代前半 |
| 4. 30代後半 | 5. 40代前半 | 6. 40代後半 |
| 7. その他() | | |

→ 問13(4ページ)へ

問12 問10で「3.結婚したいができそうにない」、「4.結婚するつもりはない」と答えた方にお聞きします。

結婚できそうにない、または結婚するつもりはない理由は何ですか。
あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。(○は1~3つ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 結婚したいと思える相手がいない | 2. 一人で暮らしたい |
| 3. 出会いの機会がない | 4. 家族を養うほどの収入がない |
| 5. 結婚資金が足りない | 6. 趣味など余暇活動に時間を使いたい |
| 7. 経済的な自由がなくなる | 8. 仕事(学業)に専念できなくなる |
| 9. 精神的に自由でいられなくなる | 10. 異性とうまく付き合えない |
| 11. 結婚相手の家族等との付き合いが面倒 | 12. 職場や周囲に未婚の異性がない |
| 13. 仕事が忙しく、時間(休み)がとれない | 14. 結婚生活に希望を見出せない |
| 15. 親の介護などにより結婚する環境でない | 16. 必要性を感じない |
| 17. その他() | |

問13 結婚に関する支援策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。

あてはまる番号を**3つまで**選び、**最も重要だと思う番号には◎を、2番目に重要だと思う番号には○**をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 安定した雇用の確保 |
| 2. 結婚祝金の支給 |
| 3. 婚活イベントなどによる出会いの場の提供 |
| 4. 交際術やマナーなどを学ぶ講座 |
| 5. 結婚相談窓口(仲立ち) |
| 6. 結婚を奨励するようなPR |
| 7. 住宅取得や賃貸、リフォームへの経済的支援 |
| 8. 奨学金の返還助成の充実 |
| 9. 男女共働参画や女性活躍の促進 |
| 10. 男性の家事や育児への参加を促すPR |
| 11. 地域や職場の理解の促進に向けたPR |
| 12. 結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない |
| 13. その他() |

→ 5ページへ

問16 あなたは、子育てにおいてどの時期の支援が最も重要だと思いますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------|-----------------|
| 1. 妊娠・出産期 | 2. 就学前 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | 6. 高校卒業後(大学生など) |
| 7. その他() | | |

問17 あなたは、出産・子育て支援において、どのような取り組みが重要だと思いますか。
あてはまる番号を**3つまで**選び、**最も重要だと思う番号には◎を、2番目、3番目に重要だと思う番号には○**をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 安定した雇用機会の提供 |
| 2. 妊娠・出産に関する情報提供・相談体制の充実 |
| 3. 不妊治療などへの支援 |
| 4. 出産一時金(祝い金)など出産時の経済的支援 |
| 5. 小児医療・保健体制の充実 |
| 6. 保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実 |
| 7. 一時預かり、夜間保育など、多様な保育の充実 |
| 8. 屋内や屋外で安心して子どもを遊ばせることができる場の充実 |
| 9. 子育てに関する身近な相談や親同士が交流できる場の充実 |
| 10. 子どもの教育環境の充実 |
| 11. 子育て世帯に対する経済的支援
(医療費の無料化や保育料の軽減化、現金給付、奨学金制度等) |
| 12. 育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり |
| 13. 男性の家事や育児への参加の促進 |
| 14. 地域公共交通の充実など利便性の高い生活環境の整備 |
| 15. 子育てに対する地域の理解や支援体制の充実 |
| 16. 子育てしやすい住宅の供給・支援 |
| 17. 男女共働参画や女性活躍の促進 |
| 18. 3世代など多世代同居の促進 |
| 19. その他() |

問18 大仙市は子育てしやすい環境であると思いますか。
あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

次の問19と問20は、「現在お仕事をされている方」のみお答えください。

→ 現在お仕事をされていない方は、問21へお進みください。

問19 あなたの職場は、仕事と家庭などの生活が両立しやすい環境(ワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境)ですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

※ ワーク・ライフ・バランス: 仕事と生活の調和

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

問20 あなたの職場は、結婚や子育てに理解があると思いますか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. そう思わない | 5. わからない | |

ここからは皆さんにお聞きします。

問21 あなたは、家庭での育児の関わり方について、どうあるべきだと思いますか。また、現在お子さんがいる方は、お子さんの育児に対して主に関わっている方はどなたですか。あてはまる番号**1つ**に○をつけてください。

全員お答えください

現在お子さんがいる方のみお答えください

理想の育児への関わり方

- | |
|----------------------------------|
| 1. 母親がほぼ全て担うべき |
| 2. どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき |
| 3. 父親と母親で平等に分担するべき |
| 4. どちらかといえば父親が多く担うべきだが、母親も一部担うべき |
| 5. 父親がほぼ全て担うべき |
| 6. 父母以外(祖父母、親族等)が主に育児を行うべき |
| 7. その他() |

実際の育児への関わり方

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 母親がほぼ全て担っている |
| 2. どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている |
| 3. 父親と母親で平等に分担している |
| 4. どちらかといえば父親が多く担っているが、母親も一部担っている |
| 5. 父親がほぼ全て担っている |
| 6. 父母以外(祖父母、親族等)が主に育児を行っている |
| 7. その他() |

問22 市が行っている結婚、出産、子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月13日(水)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。